健康増進計画（健康はだの21）第4期計画

基本の方向性　Ⅱ　健康維持向上のための生活習慣の改善と環境づくり（疾病予防と健康増進）

取組分野　４　喫煙

評価指標		計画策定時	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	目標値
非喫煙者の増加	男性	79.6%	80.4%	79.9%	89.1%	90.0%		82%
	女性	94.8%	95.3%	95.1%	89.7%	89.3%		96%
市内小中学校での喫煙防止教育回数の増加		3校	3校	5校	1校	2校		全校
1歳6か月児健診時の父と母の非喫煙者の増加	父	65.2%	65.2%	66.1%	71.5%	67.6%		70%
	母	94%	93.2%	93.8%	92.9%	92.4%		95%

重点目標　<たばこを吸わない人を増やす>

市の主な取組（事業名） 内容	目標値・実績値等	年度 H30	R1	R2	R3	R4	実施状況及び成果等（R3）	担当課評価	課題と今後の対策（方向性）	
ア　市内小中学校での喫煙防止教育	指　標	アンケートで「喫煙したいと思わない」割合（%）					感染症の影響により、実施校は2校（小学校1校：5人、中学校1校：221人）。「タバコは体に悪いと思う」と回答した割合は、事前アンケートでは87%であったが、事後アンケートでは93.8%であり、タバコに対する意識の変化があった。 （R2：小学校1校：11人）	B	若い世代から喫煙することのリスクを伝えることにより、将来に喫煙する人の減少を目指す。今後も実施校を増やしていくとともに、市内の小中学校での喫煙防止教育の実施状況の把握に務めていく。	健康づくり課
目的：「たばこを吸わない」と選択できる未成年を増やす。 内容：小中学校における、たばこの害や喫煙防止に関する講演会の実施	目標値	100	100	100	100	100				
	実績値	99.0	97.7	91	96					

基本施策　〇喫煙の害についての普及啓発及び卒煙支援

市の主な取組（事業名） 内容	目標値・実績値等	年度 H30	R1	R2	R3	R4	実施状況及び成果等（R3）	担当課評価	課題と今後の対策（方向性）	
ア　普及啓発事業	指　標	呼気検査の体験者数（人）					「市民の日」等、イベントの中止により、タバコの害を体験する普及啓発が実施できなかった。	D	イベントを通じて、非喫煙者にも、呼気検査等の体験をしてもらうことで、たばこの害の理解を深める機会となっていたが、感染予防の観点から、検査器具の連続使用が難しい。チラシやパネル等視覚を利用して啓発していく。	国保年金課 健康づくり課
目的：喫煙の害について正しく認識する人を増やす。 内容：イベントでの簡易COPD体験の実施及びチラシの配布	目標値	250	250	250	250	250				
	実績値	251	196	―	―					
イ　個別健康相談	指　標	特定保健指導で行動変容（禁煙・本数減）した割合（%）					・特定保健指導者のうち、喫煙者は19人（R2:16人）。そのうち、2人に禁煙支援を実施したが、行動変容に至らなかった。また、禁煙支援を希望しなかった4人が、保健指導を通して、最終的に本数を減らすなど行動変容した。 ・健康カレンダーやHP、チラシ等で禁煙の個別相談の周知を実施	C	電子たばこが出現し、喫煙状況も変化してきている。最新情報を取り入れながら、禁煙につながる支援のスキルアップ及び医療機関での治療についても周知し、正しい情報とともに禁煙支援の拡充を図る。	健康づくり課
目的：禁煙に関心がある人が、禁煙できる。 内容：禁煙希望者への個別相談支援及び禁煙外来などの情報提供、特定保健指導の実施	目標値	100	100	100	100	100				
	実績値	47	64.7	62.5	31.6					
ウ　周産期からの禁煙支援										
a）妊娠届出時、おめでた家族教室	指　標	4か月健診時の母の非喫煙率（%）					全妊婦を対象に面接により母子健康手帳交付しており、アンケートにおいて、喫煙している妊婦及び家族に対し、禁煙指導を実施し、禁煙外来等の情報提供した。 （妊娠届出時非喫煙率：97.5%）	A	引き続き、母子健康手帳交付時や、おめでた家族教室等妊娠を機会として、禁煙支援の充実を図る。	こども家庭支援課
目的：妊産婦の健康を保持し、将来にわたって子どもの健康の守る。 内容：妊娠期からの禁煙支援及び受動喫煙を防止を支援	目標値	100	100	100	100	100				
	実績値	95.4	94.5	95.4	94.7					
b）乳幼児健診での禁煙支援	指　標	1歳6か月児健診時の父母の非喫煙率（%）					4か月児・1歳6か月児健診において、問診で喫煙状況について確認し、禁煙の重要性について各家庭に応じた説明を実施。	A	出産後、子どもの年齢が上がるにつれて、禁煙意識が低下する傾向があるため、妊娠～新生児訪問～乳幼児健診と継続して繰り返し、喫煙防止について支援する。	こども家庭支援課
目的：将来にわたって子どもの健康の守る。 内容：4か月児健診、1歳6か月児健診時に保護者の喫煙状況を確認し、禁煙支援を実施	目標値	父70 母95	父70 母95	父70 母95	父70 母95	父70 母95				
	実績値	父65.2 母93.2	父66.1 母93.8	父71.5 母92.9	父67.6 母92.4					